認定書

国住参建第 3865 号令和 7 年 3 月 3 日

フネンアクロス株式会社 代表取締役 稲葉 久敬 様



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ(防火区画貫通部1時間遮炎性能)の規定に適合するものであることを認める。

記

- 1. 認定番号 PS060WL-1315
- 2. 認定をした構造方法等の名称 繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管/セメントモルタル充てん/壁 耐火構造/貫通部分(中空壁を除く)
- 3. 認定をした構造方法等の内容 別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名:

繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管/セメントモルタル充てん/壁耐火構造/貫通部分(中空壁を除く)

2. 寸法等の仕様:

寸法等の仕様を表1に示す。

表 1 寸法等の仕様

20 x 1 (20 1) - 1 - 10 (1)					
項	3	仕 様			
開口部	形状	円形(φ362mm以下)			
	面積	0. 1029m²以下			
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		62.9%以下			
貫通する壁の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 75mm以上			

3. 主構成材料の仕様:

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

244 = 72113324141 + 1 brz 194							
項目	仕 様						
充てん材	材料	セメントモルタル					
	組成	普通ポルトランドセメント	25 (±5)				
	(質量%)	細骨材(砂)	75 (±5)				
	充てん量	隙間に密に充てん					
		(壁厚方向75mm以上)					

表3 配管の仕様

	項	目	仕様		
		外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			組成 (質量%)	セメント: ①又は② ①ポルトランドセメント(JIS R 5210) ②エコセメント(JIS R 5214) 非公開 無機質混和材・軽量骨材 有機質繊維 非公開	
			密度	$1.4(\pm 0.2) \mathrm{g/cm^3}$	
立て管(直管)配管			寸法	呼び径 250 以下〔近似外径 φ 287mm 以下〕 厚さ 5.5~10mm	
	立て管(直管)	内管	材料	①~③の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP 又は VU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776) (HT) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798) (RF-VP) 呼び径 250以下 [外径 ¢ 267mm 以下] 厚さ 13.6mm 以下	
		空間形成材	材料	任様:あり又はなし ①~③の一、又は組み合わせ ① ② 非公開 ③	

4. 副構成材料の仕様:

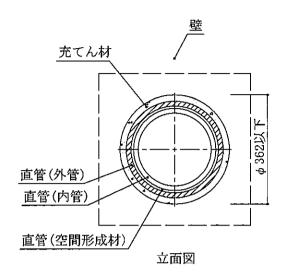
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕 様	
表面处理	材料	仕様:あり又はなし アクリル樹脂系
	使用量	90g/m²以下(外管の表面に塗装)
モルタル落下防止材	材料	仕様:あり又はなし 構成:①及び②の積層 ①アルミニウム箔 ②ポリエチレンフォーム
	寸法	非公開

5. 構造説明図: 構造説明図を図1示す。

単位 mm



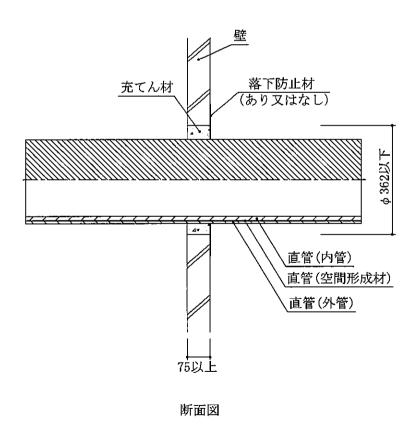


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法:

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(2) 施工注意事項

外管のヒビ又はキズ等の補修は、適切な方法にて補修する。

(3) 配管支持

配管の支持は、耐火二層管について定められた支持施工方法に準じて行う。

(4) 貫通部の埋戻しの確認

配管と防火区画の壁の開口部を、充てん材で隙間を生じないよう密に充てんする。

①セメントモルタル充てん材

1) セメントモルタルの調合

セメントモルタルはセメント 25%:砂 75%の割合で充分混合し、かつ水セメント比は必要最小限 (50~60%) にて混練する。

2) セメントモルタル落下防止材の取付け

必要に応じて壁の片面にセメントモルタル落下防止材を取付ける。開口部周囲及びセメントモルタル落下防止材は、水で湿らせる。

3) セメントモルタルの充てん

開口部を水で湿らし、開口部全体をセメントモルタルで隙間が生じないように充てんする。使用量は、開口面積、配管の管サイズによって異なるが、遮炎性能を確保する厚さ 75mm 以上の量とする。

4) セメントモルタル落下防止材の取外し セメントモルタルが充分固まってから、必要に応じてセメントモルタル落下防止材を取外す。